



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成31年1月 7 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディスイシンキョウギカイ

団体名 岡山市京山地区ESD推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 5回目 (平成27年度から)
課 題	「自転車マナー問題」は京山地区の大きな課題である。平成27年2月に開催した第10回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中で、地域住民から「自転車マナー問題」に取り組む必要性が多数提出された。その論議を受けて、地域の絆プロジェクト企画委員会を中心として、「やさしく走ろう京山」運動を展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指す。
事 業 の 目 的	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つである。京山地区ESD協議会では、ESDの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。その中で、上記課題欄に記したとおり京山地区の地域課題ランキングの第1位に「交通関係」(自転車のマナーが悪い等)が挙げられている。すなわち、平成27年2月の第10回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中で「自転車マナー問題」に取り組む必要性が強く指摘され決して無視できないものがある。そのことを受けて「地域の絆プロジェクト」の中で、長い時間をかけて現状と対策を話し合った。自転車マナーについての課題は全国的な問題であるが、まず解決できる地域がコアとなって始めるべきであると考え、平成27年度から始めたこの運動は、継続してこそ価値のある運動である。

事業の内容	・「やさしく走ろう京山」の啓発プレートが好評につき追加し、各種会合でも運動を広げ、地域の住民、児童、生徒、学生に配布する。 ・学区内にある高等学校、京山中学校、伊島・津島小学校へ「地域の願い」を届けるとともに「やさしく走ろう京山」運動の担い手を生徒・児童に広げていく。 ・岡山大学前交差点での「自転車マナー向上協働行動」の定期化をめざす。 ・伊島学区、津島学区、隣接する御野学区、岡山大学事務局、岡山大学のボランティア学生組織「岡山大学地域つながり隊」、岡山西警察署、岡山市の自転車都市推進担当課などのと協働の運動を行い、「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざす。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強める。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。 ・企画委員会、第15回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」などで論議を深め、運動を広げていく。 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会、交通安全母の会、安全安心ネットワーク、老人クラブなどとの連携を深め、交通安全週間、公民館文化祭、地域の各種行事にて取り組みを行っている。
期待される成果・目標	・「やさしく走ろう京山」を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になることを成果目標としている。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は今までに約2,500枚になる。このプレートが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域住民の意識がますます向上し、自転車問題についての関心もより高まっていくことを成果目標としている。また京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも成果目標としている。 ・成果の確認は、京山地区ESDフェスティバルなどで、アンケートや話し合いにて地域の方々に直接聞いて行う。
企画などの工夫	・「やさしく走ろう京山」の啓発プレートを使い、各種会合でも運動を広め、関係の地域の住民、児童、生徒、学生に配布する。 ・伊島、津島学区の体育会、文化祭などで啓発プレートを配布しながら「やさしく走ろう京山」運動のアピールをする。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強め、通園、通学が安全にできる学区をめざす担い手になるように運動を広げる。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布にとどまらず、「地域の絆プロジェクトだより」「ESDカフェ」「ESDフェスティバルでの地域の絆プロジェクト」等を通して、京山地区ESD協議会が掲げる【目指す地域像】に向けてさまざまな活動を企画・工夫をする。 ・現在協働行動ができていて、隣接の御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体と協働行動をさらに強める。 ・この協働行動を「自転車先進都市おかやま」をみすえて、協働の運動を行う。他学区にも広げるように努める。

協働する団体等	・御野学区各種団体 ・岡山大学・岡山大学地域つながり隊 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティー協議会 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会 ・伊島・津島学区交通安全母の会 ・伊島・津島学区安全安心ネットワーク・伊島・津島学区老人クラブ
事業の情報公開	・「地域の絆プロジェクトだより」（年4回発行）を地域の全戸に配布（約1万世帯） ・京山地区E S D推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊等の参加団体への呼びかけ ・学区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学との交流を深め、この運動を広めて行く。
学区地区への広がり	・京山学区で取り組んでいる運動だが、他の地区へ広げる必要性から平成29年から、「自転車マナー向上協働行動」を岡山大学の学生が大勢通る岡大前交差点で、隣接の御野学区、岡山大学教職員・学生、警察、市役所から多くの方々が集まり、自転車マナーのチラシを配布することができた。この「自転車マナー向上協働行動」を定期的に行うことができるように働きかける。また、「自転車先進都市おかやま」を目指してさらに他地区、岡山市全体への働きかけをしたい。
前年度からの見直し拡充点	・引き続き伊島・津島の小学校4年生の希望者、京山中学1年生の自転車通学生に啓発プレートを配布する。 ・その装着について、小中学校のご協力も頂きながら、児童生徒の交通安全・自転車マナー意識の向上を強く訴えかけるとともに、プレートを装着する意義を訴えかける。 ・31年度開園する「伊島こども園」の保護者の方にも、啓発プレートの意義を知らせ、装着してもらうように働きかける。 ・「自転車マナー向上協働行動」について、岡山大学と相談し日程を決めていたが、各学期1回の開催の定期化を図りたい。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・地域住民、京山中学1年生への啓発プレート配布を積極的に進める。 ・地域の体育大会・文化祭などの行事での啓発プレート配布活動継続と広報活動に努める。 ・啓発プレートを小学4年生・こども園保護者に希望配布することで、認知度を高めたい ・隣接学区、高校、大学への協働行動を呼びかける ・京山地区の中学生、高校生の自転車運転マナー向上のために呼びかけ強化 ・のぼり旗による「自転車マナー」向上の呼びかけ継続 ・自転車マナー向上を訴える媒体として、プレート以外の物を模索する。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ （ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 なかなか困難な状況です。 ○ 資金確保の具体的な方策： 協賛金・協力金募集の趣意書を配布し、参加団体などに呼びかけ、資金確保に努める。
その他PRしたい点	・この事業は継続実施の必要性があることは明らかである。平成31年度以降も啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・御野学区、岡山大学との協働行動「自転車マナー向上協働行動」は学区を超えたという点で画期的なことだと考えているこれをさらにすすめていく。 ・自転車マナー問題を話し合っていくなかで、参加者の意識がどんどん向上していき、あらゆる角度から安全面についても話が及ぶようになった。

事業スケジュール 随時、プレート配布

月日	活動内容
4月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間 伊島小学校 自転車教室、プレート配布
5月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島こども園へプレート配布
6月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布 津島小学校 自転車教室、プレート配布
7月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校へプレート配布
8月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
9月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 伊島、津島学区体育大会で啓発プレート配布
10月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島、津島学区文化祭で啓発プレート配布
11月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
12月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区E S Dフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
3月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収 支 予 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	前年度決算(決算見込み)	予 算	備 考
岡山市補助金	75, 000	75, 000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	35, 000	35, 000	岡山市京山地区 ESD 推進協議会
協賛金	40, 000	30, 000	交通対策協議会等
寄付、他収入	0	10, 000	
計	150, 000	150, 000	

◆支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費		148, 000	啓発プレート・のぼりの作成 地域の絆だより・「やさしく走ろう 京山」運動ちらし用紙代
通信費		2, 000	企画委員会案内状郵送切手代
計		150, 000	

◆概算交付の可否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成31年1月7日

■団体の概要書